

及び社会生活を総合的に支援するための法律改正に対応するためのシステム改修費用を追加、介護保険特別会計繰出事務で介護保険制度の改正に伴うシステム改修を行うため繰出金を増額、公的介護施設等整備補助事業で市内の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設に伴い、設備類の購入に対する補助を予定していたが、内容に変更が生じたことから、補助金を減額、後期高齢者人間ドック助成事業で申請件数が増加していることから補助金を増額、農林水産業費のうち、農業費では、土地改良事務で台風21号及び22号の影響により、入間第二用水土地改良区が管理している平松線用水路の一部が損壊したことから復旧工事に係る負担金を増額、商工費のうち、観光費では、観光地美化事業で駒高公衆トイレ整備工事について、まちづくり基金の繰入れが見込めたことから財源更正、土木費のうち、道路橋りょう費では、道路等維持・補修事業で日高市と坂戸市の市境に位置する市道B1355号線(坂戸市道第522号線)の舗装修繕工事を坂戸市が主体となり実施することから工事に係る負担金を追加、幹線

市道整備事業で県が実施している国道407号鶴ヶ島・日高バイパスの雨水排水管布設替え工事について工事内容に変更が生じたことからこれに伴う負担金を増額、諸支出金のうち、公営企業費では、下水道事業会計助成事務で、下水道事業会計における事業費の確定や職員の人員配置の関係から、負担金及び補助金を減額したいというものです。
(全員賛成で原案可決)

平成29年度日高市介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ226万8千円を追加し、補正後の総額をそれぞれ44億8千17万3千円としたいというものです。
(全員賛成で原案可決)

平成29年度日高市水道事業会計補正予算(第2号)
収益的収入の総額を12億3千982万4千円、収益的支出の総額を12億1千32万2千円、資本的支出の総額を5億3千34万4千円、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額を2億3千455万5千円、議会の議決を経なければ流用す

ることのできない職員給与費の総額を1億3千236万4千円としたいというものです。
(全員賛成で原案可決)

平成29年度日高市下水道事業会計補正予算(第2号)
収益的収入の総額を11億3千147万4千円、収益的支出の総額を10億7千509万4千円、資本的支出の総額を10億6千428万7千円、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額を3億6千835万5千円、議会の議決を経なければ流用することのできない職員給与費の総額を9千917万8千円、一般会計からの補助金を2億4千634万6千円としたいというものです。
(全員賛成で原案可決)

日高市個人情報保護条例の一部を改正する条例
(議案第59号)
行政機関の保有する個人情報に関する法律の改正が施行されたことに伴い、個人情報保護制度の見直しについて、所要の改正を行いたいというものです。
(全員賛成で原案可決)

日高市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
所得税法の改正に伴い、字句の整理を行いたいというものです。
(全員賛成で原案可決)

日高市都市計画審議会条例の一部を改正する条例
(議案第61号)
日高市都市計画審議会の委員に関係行政機関の職員を加えること及び委員定数の上限の改正等をしたというものです。
(全員賛成で原案可決)

日高市葬祭条例を廃止する条例
(議案第62号)
葬儀の多様化などに起因する利用率の低下を踏まえ、市営葬の制度を廃止したいというものです。
(全員賛成で原案可決)

日高市敬老祝金支給条例を廃止する条例
(議案第63号)
高齢者人口の増加に伴い、より具体的な施策等の財源を確保する必要性が高まっていることを踏まえ、敬老祝金制度を廃止したいというものです。
(賛成多数で原案可決)

議案第63号 賛成討論
日高市の65歳以上の人口は1万7千人を超え、高齢化率は30%を超えた。平均寿命は全国より下回るものの、女性が85・4歳、男性が79・6歳。まちづくりやボランティア活動に積極的に参加され、同年代を支援されている方も大勢いる。もはや年齢だけをもって支援される側だとするのはかえって失礼にもなりかねない。
敬老祝金の支給額は29年度見込みで1千137万円、31年度以降は1千400万円を上回る予想である。厳しい財政の中で、年齢によって特定の方に現金



す。

議案第63号 反対討論

敬老祝金は高齢者の方の長寿を祝う制度として高齢者の方の気持ちをおもひやる大切な施策であり、意義は大きい。現行の支給額を減額しても、維持する必要があると考える。
以上のことから、本議案に反対する。